



患者サポートセンター 地域医療連携だより



病院の「いま」と「これから」について

2024年度の診療報酬改定では、「**連携**」が重要なキーワードとなりました。地域の医療を守るため、いまあるさまざまな課題に対し、当院で始めたとりくみについて、本号から3回シリーズでお伝えしたいと思います。

第1回目は「**救急患者受入れ時の課題と^{くだ}下り搬送のとりくみ**」をとりあげます。



救急患者受入れ時の課題について

上小地域は、夜間・休日に入院を要する救急医療を、10の2次救急医療機関で編成された病院群輪番制で支えています。

この2次救急医療機関では対応できない重症救急等の場合、3次救急が受けられる医療機関へ搬送されますが、この医療機関の病床（ベッド）が空いていなければ、受入が難しくなってしまいます。



^{くだ}下り搬送のとりくみ

当院では、3次救急病院の負担の軽減に寄与するため、今年度、信州上田医療センターと“**下り搬送協定**”を結びました。協定により、3次救急病院が本来の医療機能を維持しつつ、重症救急患者の受入のために必要な病床の確保ができることを目的としています。



^{くだ}下り搬送ってなあに ??

信州上田医療センターへ入院後、急性期の治療（手術や集中的な治療など）が終了し、病状が安定した患者さんに当院へ転院していただき、引き続きリハビリテーションなどを行いつつ、退院に向けた支援を行うことをいいます。

知ってほしい、当院をとりまく医療の話題



長野県には、10の医療圏があり
長和町は、上小医療圏域に属しています



病院群輪番制
医療圏域の病院が協力、休日夜間
も診療できる体制を整えています

緊急性/高

症状/重

3次救急/ 救命救急医療
信州上田医療センター

当院は2次救急病院

2次救急/ 入院を要する救急医療
10の病院で構成する病院群輪番制

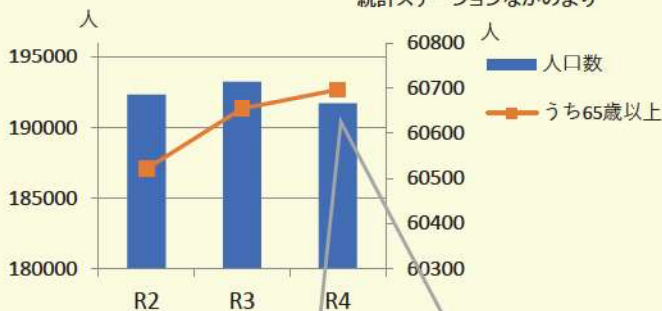
初期救急/
かかりつけ医
上田市内科・小児科初期救急センターなど



上小医療圏域 夜間・休日の医療の体制

上小医療圏の人口の推移

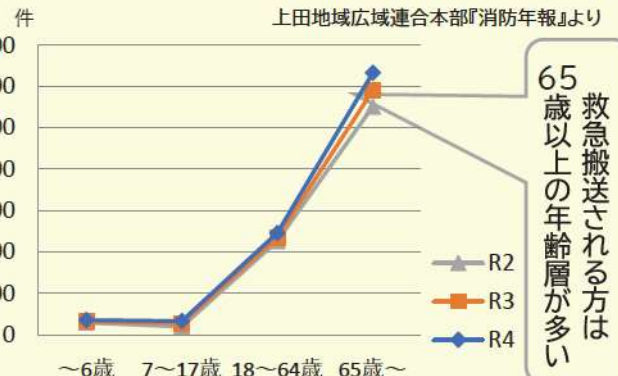
統計ステーションながのより



人口は減るが、病気のリスクが高い
65歳以上の高齢者の数は増えている

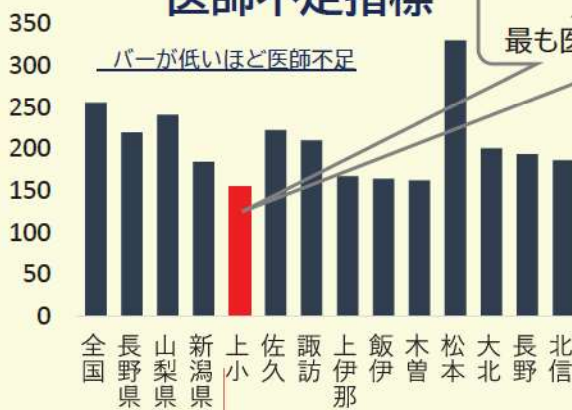
年齢別の救急搬送件数

上田地域広域連合本部『消防年報』より



65歳以上の年齢層が多い
救急搬送される方は

医師不足指標



厚生労働省が示す
2023年医師偏在指標の計算式・計算結果に
基づき算出された結果より作図
(長和町ふれあいフェスタ発表資料より)

10医療圏

上小医療圏は
最も医師が不足している

医師の働き方改革

2024年スタート
過重労働が常態化している勤務医師の
労働環境改善の動き

- 勤務間インターバルの設定
- 連続勤務時間の制限



働き方改革は、
その他医療従事者にも

医師不足・ 医療従事者不足の課題